

【自宅でのトイレ対策】

震度5強以上の地震が発生した際には、配管等を点検し、異常がないことが確認できるまでの間、水洗でのトイレ利用はせず、トイレパック（凝固剤）を使用するようにしましょう。

大地震の後にトイレを使用すると 汚水が逆流する!?

大地震発生によって排水管が壊れると、つまりが起こり、トイレから流した汚水が逆流して、部屋が水浸しになる可能性があります。震災時、まずはトイレパックを使用しましょう。



被災地の現実

震災等の被災地では、水道等が寸断して、トイレが使用できなくなり、大変な苦勞をしいられる現実があります。トイレ対策は、飲食の備蓄と同じく、とても大切です。ご自身での取組も進めましょう

総務課危機管理担当

トイレパックを備蓄しよう!

震災時に、トイレをすぐに使用したい場合やトイレが使用できなくなった場合に備え、トイレパックの備蓄が必要です。

トイレパックって
どんなもの?

トイレの便器などに設置して使用する「袋」と「凝固剤」のセットです。凝固剤には、排泄物を固め、消臭する効果があり、衛生的で処理が簡単です。

トイレパックの使い方

- 1 袋と凝固剤を取り出します。
※吸水シートなどのタイプもあります。



- 2 便器に袋を広げてかぶせます。別のトイレパックの袋（またはその他のごみ袋など）を使用して、2重にしておくことで以降の手順で「袋の外側」を濡らさずに処理ができます。



- 3 そのまま用を足し、凝固剤をかけます。



- 4 便器から袋を外し（2重にしている場合は上の袋のみ）、袋の口をしっかりと結びます。使用済みトイレパックだけを袋にまとめて燃やすごみの収集日に出します。



※ごみの収集が停止している場合には、各家庭でまとめて保管しておきましょう。

備蓄の目安

- トイレに行く回数は、1人1日あたり約5回です。
- 1週間分(5回×7日=1人あたり35回分)は準備しましょう!
- あわせてトイレトーパーも普段から多めにストックしておきましょう。消臭剤もあるとより快適です。

トイレパックはどこで買えるの?

ホームセンターや百元ショップ、インターネット通販サイトなどで購入可能です。各店舗にお問い合わせください。
※価格帯は、個包装で1個100円程度から1箱50個入りで4千円程度のものなどさまざまです。



集合住宅の場合



戸建て住宅の場合

